

第 3827 図

ほもの科



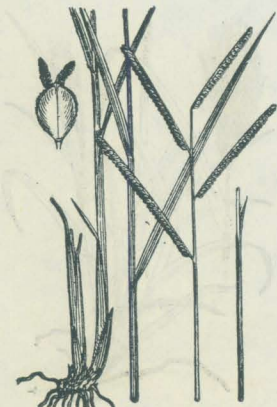
第 3828 図

ほもの科



第 3829 図

ほもの科



ねずみむぎ

*Lolium multiflorum Lam.*

欧州中南部、アフリカ北西部、アジア南部原産の1-2年生草本であるが、各国の温帯地方に帰化して雑草となった。向陽の草地を好み、稈は高さ30-100cm、通常60cm、単生又は叢生、略々直立し、基部以外では分枝せず。葉は平滑、無毛、線形で長さ50cm巾8mm許。基部は左右に細く突出して稈を抱いて小耳をなす。穂状花序は強剛、長さ15-20cm、多少之字状に屈曲して無柄の小穂を稍疎に互生的に接着する。小穂は長楕円形、扁平長さ1.5cm内外、8-15小花がある。小花の基に關節あり、外穎は頂生の小穂にのみあり、他はこれを欠き、内穎は長楕円形、通常鈍頭数脈を具え、外稃は内穎と同長、広披針形、先端2微齒をなし、長さ5-8mm、5脈あり、長さ10mmの芒がある。

ふおーりーがや

一名みやまちゃひき

*Schizachne purpurascens Swallen*

北海道及び本州中部の針葉樹林中に生ずる多年生草本で、東亜の北部及び北米に広く分布する。地下に細い根茎があり、根元で多く分枝して叢生、直立して高さ40-70cmに至る。稈は繊弱で、葉は狭線形薄質、巾1-2mm。初夏の候、円錐花序を高く抽出し、その長さ5-8cm許、先端は少しく点頭し、数個の小穂を生ずる。小穂は稍扁平な狭長楕円形で、長さ12-15mm、3-5小花よりなり、各花の元に關節があり、帯紫又は帯褐黄緑色を呈する。内外穎は膜質、広披針形、鋭頭、長さ不同で3-8mm許、外穎1脈、内穎は5脈を具え、外稃は広披針形、7脈あり、長さ8-11mm許、先端より少しく下部から長芒を生じて稈の2倍の長さがあり、基部に長い白毛を生ずる。

すずめのこびえ

*Paspalum orbiculare Forst.*

本州東海道以西、四国、九州の暖地、向陽の草原に多い多年生草本で、基部で多く分岐して叢生し、高さ50-80cmに達し、時に著しい大株となる。葉は線形、長さ20-30cm、巾5-10mm先端は細く尖り、基部は鞘をなし、鞘口にのみ毛があり、他は平滑。夏に稈頂に長く花序を抽いて、直立或は斜上生し、頂に疎に数個の側枝を互生斜開し、扁平で基部に長毛のある枝上に小穂を下向偏側して2列に密生する。小穂は扁平で、倒卵状広楕円形又は楕円形、円頭、長さ2-2.5mm許、縁辺に微毛がある。内外の2穎は膜質、3脈あり、外穎は背面膨出し、内穎は平面をなし、革質、熟して光沢あり、褐色を呈する稈を抱く。花柱は紅紫色を呈する。

かりまたすずめのひえ

一名きしゅうすずめのひえ

*Paspalum distichum L.*

本州の近畿地方南部、中国地方及び九州の暖地の海岸や河川の湿地に群生する多年生草本で、広く熱帯にまで分布する。稈は著しく匍匐し、各節より発根し多く分枝して繁殖する。全体平滑無毛、葉は短かく線形で斜開し、やや軟質、長さ5-8cm、巾3-5mm、時に粗毛を散生し、下部は茎をゆるく包む太い鞘となり、鞘口に白毛がある。夏秋の候、稈頂に短かく花序を抽出直立し先端から側枝2個稀に3個を叉状に出す。側枝の軸は扁平で小穂を外側に偏側して2列に生ずる。小穂には甚だ短い柄があり、扁平な鋭頭長楕円形で淡緑色を呈し、内外の穎は膜質で短毛があり、外穎は背面膨出し、内穎は平たく、内に革質淡黄色、鋭頭で頂端に束生する短毛のある稈がある。葯及び花柱は黒紫色を呈する。和名のカリマタは雁足の意で、花序の形を言い表わしたものの。

ひろはのこぬかぐさ

*Auacolepis Treutleri Hack.*

var. *japonica Ohwi*

本州中部以西の深山林中に稀に産する多年生草本。稈は高さ80-120cm、稍軟質で無毛、葉は鮮緑色、薄質で表面は粗波し、長さ20-30cm、巾10-22mm、下部は葉鞘となって茎を包み、節間より長く無毛、夏円錐花序を稈頂に生じ、広卵形、花序の分枝は粗波し、輪生状に開出し、更に再三分枝して、末端に小穂を少々疎に圧着して生ずる。小穂は緑色、長さ3.5mm許、扁平、1花あり、花下に關節がある。内外穎は長さ不同で、広披針形、1脈を具え、長さ1-2mmあり、外稃は広披針形、長さ3.5mm、5脈があり、緑色を呈する。

はいちごささ

*Isachne nipponensis Ohwi*

関東以西、四国、九州の暖地の湿地に群生する多年生草本で、朝鮮の南部にも分布し、稈は基部倒伏して長く匍匐発根し、高さ10-40cm許、全体繊細、葉は稈に互生し、楕円状広披針形、鋭尖頭、薄質、両面に散生する毛があり、長さ15-40cm、巾0.7-1.5cm、下は長い白色縁毛のある鞘となって茎を包む。秋稈頂に短い円錐花序を生じ、再三、斜開分枝し、小枝は多少波状に屈曲して先に疎に小穂をつける。小穂は淡緑色、長さ1.2mm内外、広楕円形、円頭、略々同形で上半に長短白毛が交って散生し熟すれば開いて稈を現わす。内外の稈は長さ1.2-1.3mm許、下の花の外稃は背面にやや密に微毛がある。

第 3830 図

ほもの科



第 3831 図

ほもの科



第 3832 図

ほもの科

